

公立大学法人埼玉県立大学 第2期中期目標期間 業務実績報告書の概要

■ 自己評価 結果一覧

項目	S	A	B	C	計	S・A の比率
	(中期計画を上回って達成)	(中期計画を十分に達成)	(中期計画を十分に達成できず)	(中期計画を達成せず)		
I 教育・研究等の質の向上	3	34	0	0	37	100.0%
1 教育	0	19	0	0	19	100.0%
2 学生支援	2	5	0	0	7	100.0%
3 研究	1	5	0	0	6	100.0%
4 地域貢献産学連携	0	5	0	0	5	100.0%
II 業務運営の改善・効率化	0	7	0	0	7	100.0%
III 財務内容の改善	0	6	0	0	6	100.0%
IV 自己点検・評価	0	3	0	0	3	100.0%
V その他	0	6	0	0	6	100.0%
合計	3	56	0	0	59	100.0%

中期計画を上回って実施している項目（S評価）

- 学修・生活支援体制の充実
→新型コロナウイルスの感染状況に応じて、遠隔又は対面により継続して学生担任による面談や学年間交流などを実施した。また、コロナ陽性となった一人暮らしの学生への食糧支援など、応急的な生活支援を行った。
- 進路決定支援
→キャリア教育の充実、キャリアカウンセラーによる就職相談等を実施し進路決定率98%以上の高い水準を達成した。
- 科研費採択に向けた取組
→各事業年度において、採択件数は目標の65件を達成している。

■ 中期目標期間における主な取組

I 大学の教育研究等の質の向上に関する取組

- 高等教育開発センターを設置し、各ポリシー、カリキュラムの見直し・改正を行った。
- 博士課程においてリカレント教育推進のため土曜日開講やサテライトキャンパスの活用、メディアを利用した授業を実施した。
- 学生担任教員による面談、学年間交流、臨床心理士によるカウンセリングなど各種学生支援を行った。
- キャリアセンターを開設するなどの相談体制の拡充、各種対策講座の実施及び国家試験合格率等を踏まえ、進路決定率100%達成に向けて取組を進めた。
- 県内就職率60%以上達成に向け、県内病院説明会等を充実させた他、指定校推薦枠を確保する等の取組を進めた。
- 研究開発センターを設置し、地域包括ケアシステムに関するプロジェクト研究等に取り組んでいる。
- 科研費採択向上のため研究会や個別相談などの研究体制の整備を進め、毎年度65件の目標を達成している。
- 学術研究、教育、社会貢献活動等の推進に資することを目的として埼玉大学との包括連携協定を締結した。
- 地域住民向けの一般公開講座、保健医療福祉従事者を対象とした専門職講座や高校生向け出張講座をオンライン等を活用して開催した。
- 海外大学との留学生等の相互派遣を実施し、国際交流の拡充を図った。

II～V 業務運営・財務内容等の改善及び効率化に関する取組

- 学内外の情報集約と分析を行うIRシステムを構築した。
- 新たなホームページを構築し、教員の教育研究等業績、新型コロナウイルス感染症対応状況など積極的な情報発信を行っている。
- 大学認証評価を受審し、示された課題について改善に取り組んでいる。
- 外部資金等の自己収入の確保、経費の抑制、資産の運用管理を総合的に実施した結果、平成29年度～令和元年度の3年間に於いて自主財源比率44%以上を達成した。

※ 4つの数値目標の達成状況

数値目標		実績					
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 進路決定率 (事業年度毎に達成)	100.0%	98.8%	98.3%	98.8%	98.8%	99.3%	99.0%
2 県内就職率 (令和3年度に達成)	60.0%	54.2%	55.8%	57.8%	49.2%	53.4%	56.4%
3 科研費採択件数 (事業年度毎に達成)	65件	68件	65件	65件	67件	80件	82件
4 自主財源比率 (事業年度毎に達成)	44.0%	43.7%	44.7%	44.8%	44.0%	43.2%	43.4%